

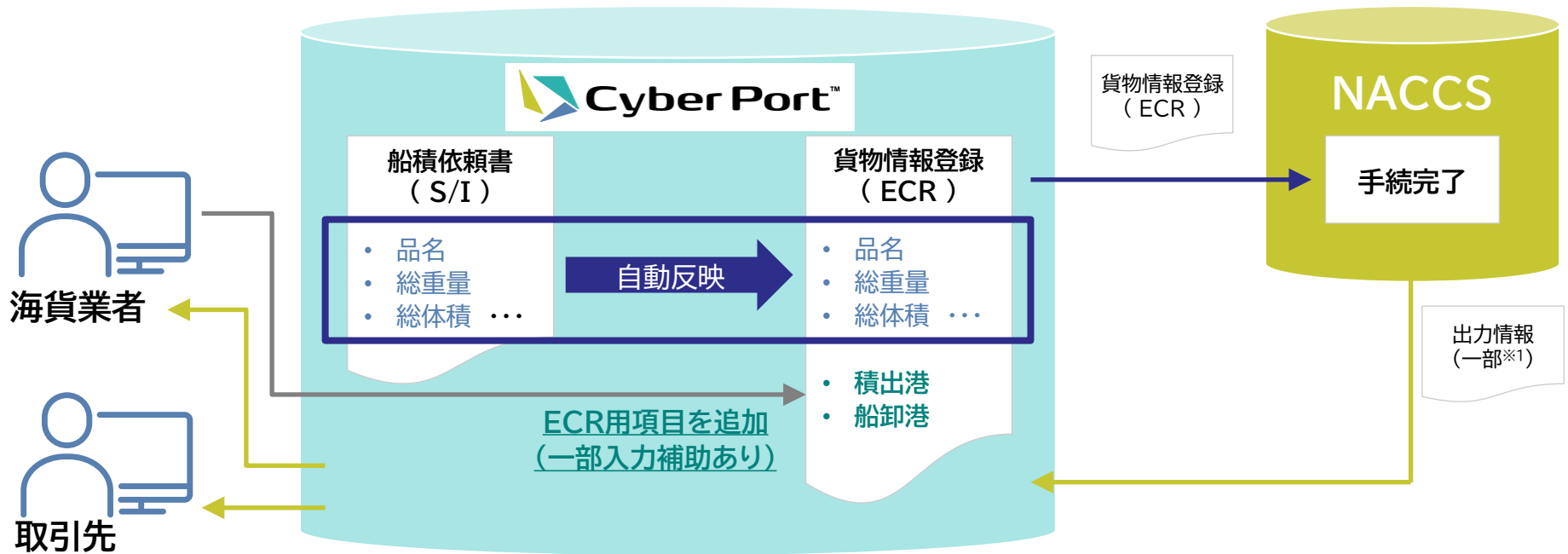
NACCS連携機能について

- NACCS連携機能 概要 P.2
- NACCS連携機能 利用方法 P.6
- NACCS連携機能 GUI利用 P.10
- NACCS連携機能 API利用 P.30

NACCS連携機能 概要

1-1. NACCS連携機能イメージ

✓ サイバーポート - NACCS連携機能イメージ



※1 NACCSから受信した電文をサイバーポートの画面で表示する際、一部の業務において参照できない電文情報が生じる

<メリット>

1. netNACCS上での個別入力作業が不要に
2. 再入力が不要であり、誤入力の防止にも貢献。各帳票間でデータが引き継がれるので、既存入力事項は入力が不要(差分入力のみでOK。ECRの例では、S/I情報等から**最大約8割の項目が自動入力可能**)
3. NACCSマスタとの連携による入力補助機能を活用し、誤入力防止やデータ不整合減少を実現
4. サイバーポートにNACCS照会業務等の出力情報も反映可能。取引関係先との情報連携が容易に

1-2. NACCS連携機能の対象

- ・ 利用対象者
 - － 本機能は、以下の事業者が利用対象者となります。
 - ・ 荷主、海貨業者、国際フォワーダー/NVOCC、通関業者、倉庫業者 等
 - ・ 特に、netNACCS等を用いてNACCSに手入力で手続・照会している事業者

- ・ 利用可能な業務コード
 - － 国際海上コンテナ物流に関する通関関係手続を中心に、NACCSの82業務コードをCyber Portのブラウザ画面上から行うことができます。
 - － 業務コードは以下の条件で選定しております。
 - ・ 利用されている数が多い
 - ・ 上記の利用対象者が利用メリットを享受しやすい

1-3. 利用可能な業務コード(一覧)

No.	業務コード	業務名称	No.	業務コード	業務名称	No.	業務コード	業務名称
1	ACL01	ACL情報登録(コンテナ船用)	29	CYD01	システム外CY搬入確認(B/L単位)(事前登録)	56	RSS11	輸入コンテナ引取予定情報通知(ID通知)呼出し
2	ACL11	ACL情報登録呼出し	30	SCR	簡易貨物情報登録	57	RSS12	輸入コンテナ引取予定情報選択(ID通知)呼出し
3	ECR	輸出貨物情報登録	31	SCR11	簡易貨物情報登録呼出し	58	RST11	輸入コンテナ引取予定確認情報通知(ID確認)呼出し
4	BKC	ブッキング情報変更	32	IDB	輸入申告事項呼出し 海上	59	RSS01	輸入コンテナ引取予定情報通知(ID通知)
5	BKR	ブッキング情報登録	33	IDD	輸入申告変更事項呼出し 海上	60	RST01	輸入コンテナ引取予定確認情報通知(ID確認)
6	BKC11	ブッキング情報変更呼出し	34	IDA	輸入申告事項登録 海上	61	CYO	CY搬出確認登録
7	BIC	搬入確認登録(輸出未通関)	35	IDC	輸入申告 海上	62	ICG/ICG0W	貨物情報照会
8	ECR11	輸出貨物情報登録呼出し	36	IDA01	輸入申告変更事項登録 海上	63	ICN/ICN0W	コンテナ情報照会
9	BIF11	輸出貨物情報訂正呼出し	37	IDE	輸入申告変更 海上	64	IID/IID0W	輸入申告等照会 海上
10	BIF	輸出貨物情報訂正	38	MSX	申告添付登録 海上	65	IVK	船舶コード照会
11	EDA	輸出申告事項登録 海上	39	MSY	申告添付訂正呼出し 海上	66	IMI/IMI0W	積荷目録状況照会
12	EDC	輸出申告 海上	40	MSY01	申告添付訂正 海上	67	IIE/IIE0W	輸出入者情報照会 海上
13	EAA	輸出許可内容変更申請事項登録 海上	41	AMA	修正申告事項登録 海上	68	IXX	関連省庁申告・申請状況照会 海上
14	EDB	輸出申告事項呼出し 海上	42	AMB	修正申告事項呼出し 海上	69	IEX/IEX0W	輸出申告等照会 海上
15	BOC	搬出確認登録(輸出許可済)	43	MSB	添付ファイル登録	70	IER	為替レート照会 海上
16	BID	搬入確認登録(輸出許可済)	44	AMC	修正申告 海上	71	IMS	申告添付一覧照会
17	EAC	輸出許可内容変更申請 海上	45	OLC	保税運送申告	72	IVS	入出港届等照会
18	EAB	輸出許可内容変更申請事項呼出し 海上	46	OLC11	保税運送申告呼出し	73	IWS	貨物在庫状況照会
19	BOB	搬出確認登録(貨物引取り)	47	OLA	保税運送申告事項登録	74	ICI	船積コンテナ情報照会
20	BIE	システム外搬入確認(輸出許可済)	48	OLA11	保税運送申告事項登録呼出し	75	IAS	担保照会
21	VAN11	バンニング情報登録(コンテナ単位)呼出し	49	OLC20	保税運送申告(事項登録あり)	76	IDI	輸入申告等一覧照会 海上
22	VAE11	バンニング情報登録(輸出管理番号単位)呼出し	50	BOA	搬出確認登録(保税運送貨物)	77	IFR	フリータイム情報照会
23	VAN	バンニング情報登録(コンテナ単位)	51	NVC11	ハウスB/L貨物情報登録呼出し	78	IML	出港前報告一覧照会
24	VAE	バンニング情報登録(輸出管理番号単位)	52	NVC02	ハウスB/L貨物情報登録(関連付け)	79	IAR	出港前報告照会
25	VAC	バンニング情報取消し	53	BIA	搬入確認登録(保税運送貨物)	80	IES/IES0W	輸出申告等一覧照会 海上
26	CYA	CY搬入確認登録	54	NVC01	ハウスB/L貨物情報登録(登録、訂正、削除)	81	IAL	ACL情報照会
27	SAI11	輸入貨物情報訂正呼出し	55	DOR	輸入貨物荷渡情報登録	82	IIE01	法人番号情報照会 海上
28	SAI	輸入貨物情報訂正						

NACCS連携機能 利用方法

2-1. NACCS連携機能 利用方法

- サイバーポートでは、サイバーポートの画面よりNACCS連携を行う「GUI利用」と、事業者が既に利用している自社のシステムより、サイバーポートのAPIを介してNACCSとの通信を行う「API利用」の2種類の連携方法をご用意しております。
- それぞれの連携方法の詳細については、後続ページをご確認ください。

No.	NACCSの利用形態	自社システム	netNACCS	専用線接続	Cyber Port利用方法	メリット
1	自社システムを見ながらnetNACCSに手打ち	○	○	-	API利用 GUI利用	API利用 自社システムからサイバーポートのAPIでNACCS連携が可能になり、手打ち作業を削減。 GUI利用 システム改修のコストをかけずに利用が可能。NACCSマスタとの連携による入力補助機能により、誤入力防止やデータ不整合減少を実現。また、どの端末からでもNACCS連携が可能。
2	自社システムからファイル出力し、netNACCSにインポート（自動連携）	○	○	-	API利用 GUI利用	API利用 自社システムとnetNACCSの使い分け、インポートの手間を削減。また、連携が不完全な場合でもサイバーポートから追加入力が可能に。
3	自社システムからファイル出力し、netNACCSにインポート（手動連携）	○	○	-	API利用 GUI利用	GUI利用 システム改修のコストをかけずに利用が可能。どの端末からでもNACCS連携が可能。
4	紙を見ながらnetNACCSに手打ち（自社システムなし）	-	○	-	GUI利用	NACCSマスタとの連携による入力補助機能により、誤入力防止やデータ不整合減少を実現。また、どの端末からでもNACCS連携が可能。
5	自社システムが専用線接続済み	○	-	○	-	

2-2. NACCS連携 ご利用までの流れ

- NACCS連携は、以下のステップでご利用いただくことを推奨しています。
- 各内容はサイバーポート運営より個別にご説明します。お気軽にお問合せください。問合せは[こちら](#)。

1. サイバーポートへの利用申請
※API接続情報の取得含む

サイバーポートへの利用申請を行ってください。
API利用をご希望の場合、「検証環境事前利用」と「システム接続」を「あり」にて申請をお願いしております。

2. (サイバーポート用の)
NACCS利用者IDの取得

NACCSを既に利用いただいている方でも、識別番号(3桁)はサイバーポート用に取得する必要がありますので、NACCSに申請を行ってください。
※申請方法含む詳細は次頁のQ1に記載

3. サイバーポートのマスタ設定

サイバーポートのマスタ設定として、以下を行ってください。
・サイバーポートの組織/利用者の作成
・NACCS利用者情報の登録
・サイバーポートの利用者とNACCS利用者情報の紐付け
GUI利用の場合は、この設定実施後、ご利用が可能となります。

以下API利用の場合

4. (自社システムにおける)
NACCS連携APIの呼出処理の
構築・テスト

NACCS連携APIの呼出処理等の構築・テストを行ってください。
環境はサイバーポートの検証環境をご利用ください。
※サイバーポートの検証環境から、NACCSの接続試験環境に実際に通信してテストを行うことも可能です。ただしその場合は、NACCSの接続試験環境用のNACCS利用者IDが必要であるため、サイバーポート運営にお問合せください。問合せは[こちら](#)。

5. NACCS連携APIの利用

NACCS連携APIをご利用ください。

2-3. よくあるご質問(QA)

- NACCS連携について、よくあるご質問(QA)を以下にまとめます。

No.	ご質問	回答
1	利用申請方法を教えてください。(前頁2のステップ)	利用申請方法は、NACCS掲示板に掲載しています。URLは こちら 。
2	NACCS連携機能を試すことに費用はかかりますか。	「従量のみ」を選べば、設定だけでは費用はかかりません。 ただし、NACCS業務を利用した場合は、従量課金はされますので、NACCSのシステム利用規程に準じて費用がかかります。
3	NACCS連携APIについて、本番利用の前に試験利用をしたい。サイバーポートの検証環境で試すことは可能ですか。(前頁4のステップ)	可能です。サイバーポート運営にお問合せください。問合せは こちら 。 なお、試験利用ではNACCSの接続試験環境を利用しますので、費用はかかりません。

NACCS連携機能 GUI利用

3-1. NACCS連携機能 GUI利用

GUI利用における画面操作イメージを業務の流れに沿って説明します。

① 登録業務 例:ACL01

1. 画面表示
2. コード・名称変換
3. 複数行項目の入力・表示
4. NACCS送信情報の保存
5. NACCSへの送信
6. NACCSから結果の受信
7. エラー応答の表示
8. 入力項目ガイドの表示

② 呼出業務 例:ACL11

ACL11画面

1. 画面表示
2. NACCS送信情報の検索・送信
3. ACL01画面への遷移

ACL01画面

1. 画面表示(ACL11から)
2. 反映前確認画面の表示
3. 反映後の画面表示
4. 差分再選択画面表示

③ 照会業務 例:ICG

ICG画面

1. 画面表示
2. NACCS送信情報の検索・送信
3. 既存帳票画面への遷移

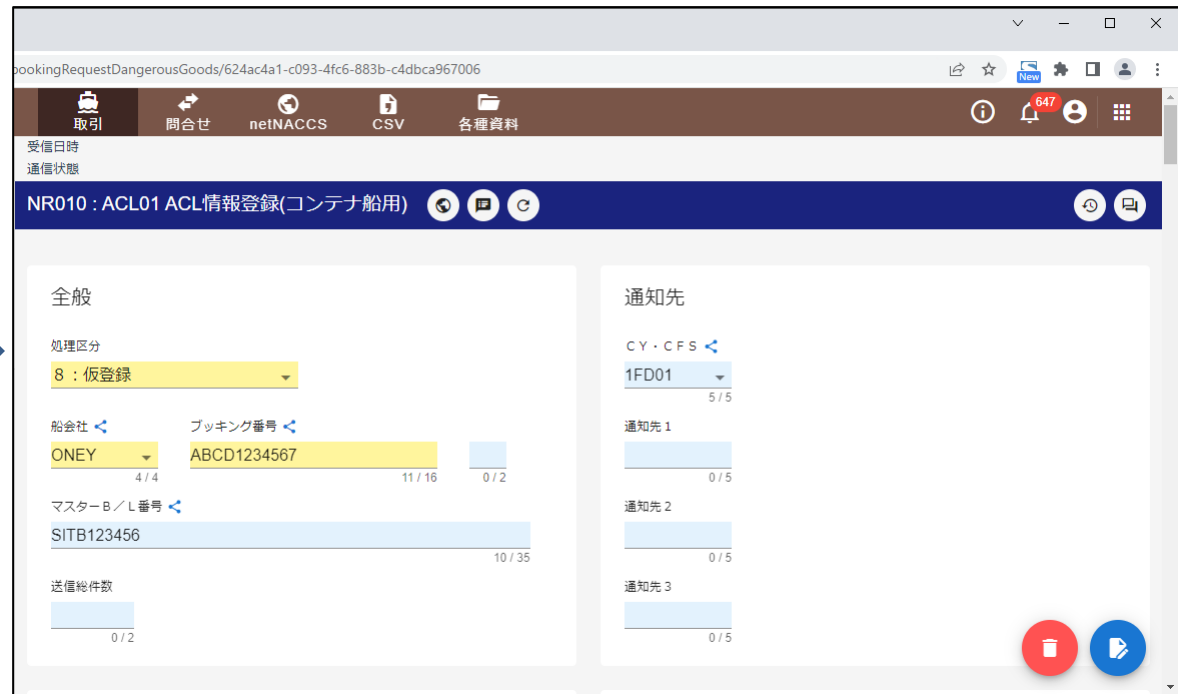
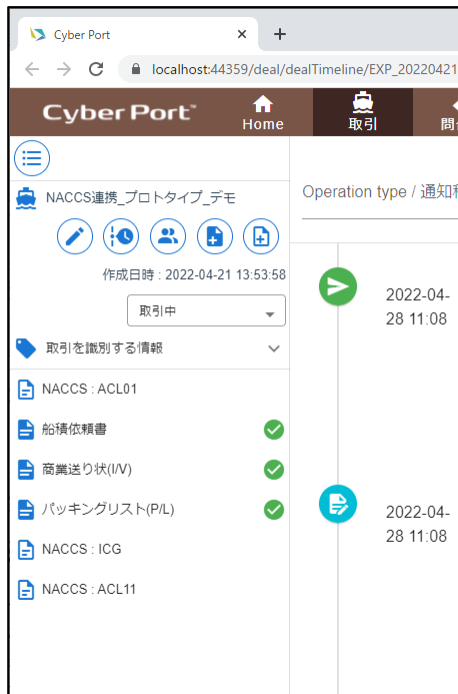
既存帳票画面

1. 画面表示(ICGから)
2. 反映前確認画面の表示
3. 反映後の画面表示
4. 差分再選択画面表示

登録業務を下記の流れで確認します。

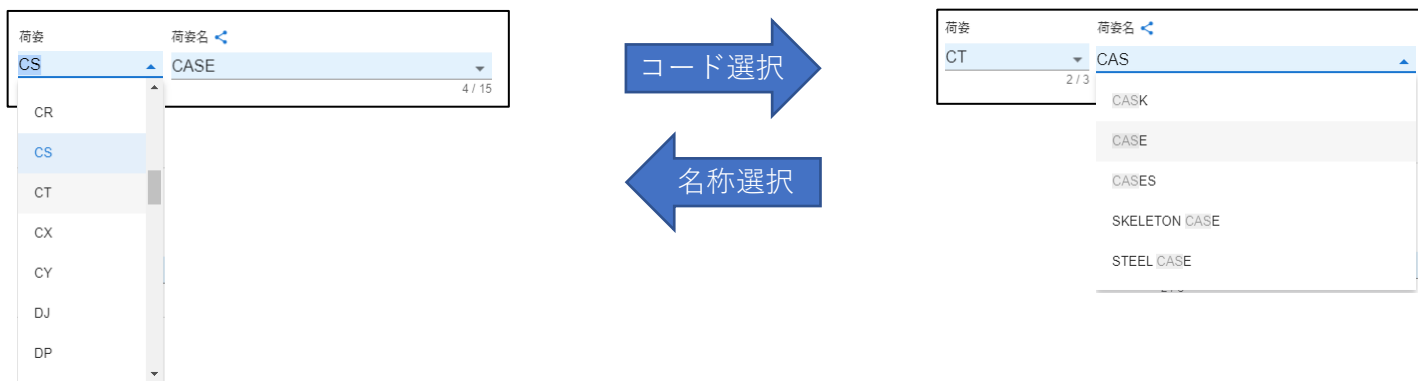
1. 画面表示

取引の左ペインから、ACL01画面を表示する。



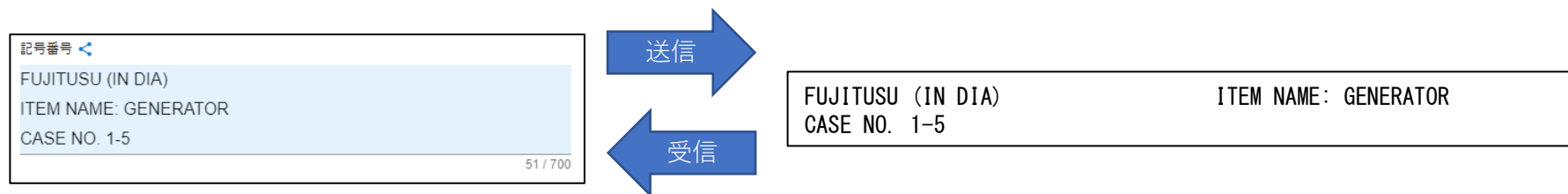
2. コード・名称変換

NACCSと同期したマスタにより、コード・名称の相互変換、入力補助を行う。



3. 複数行項目の入力・表示

netNACCSではスペースを埋めなければいけなかったが、Cyber Portでは改行で区切りながら入力が可能となる。

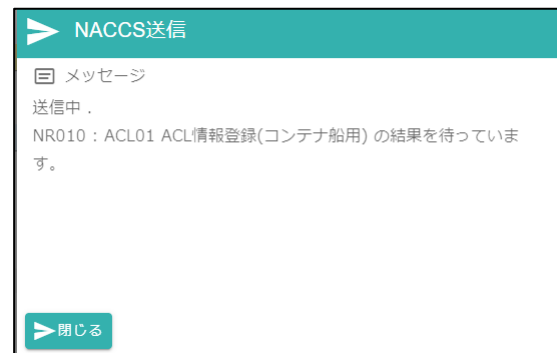
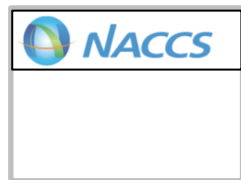
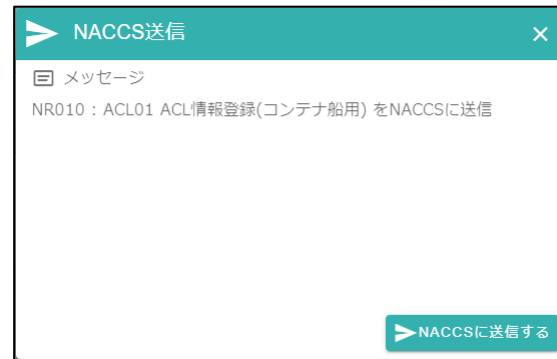
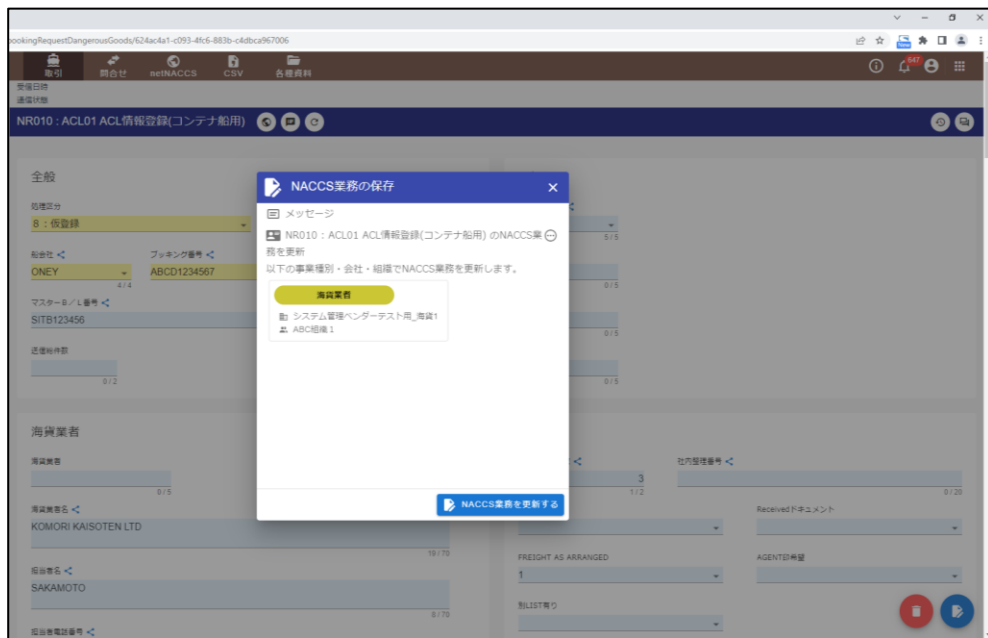


4. NACCS送信情報の保存 保存ボタン押下で、保存確認画面を表示する。



5. NACCSへの送信

保存後、送信確認画面から送信依頼し、応答を受信する。



※NACCSに送信する際に、NACCSから課金されます。

6. NACCSから結果の受信

NACCSから応答が受信されると、送信中画面が自動的に閉じられる。
ここではエラー応答が受信された場合を確認する。

受信日時 2022/04/28 14:13:55
通信状態 受信完了 (正常)

NR010 : ACL01 ACL情報登録(コンテナ船用)

入力項目ガイド

コード	内容	処置	項目ID
R0014	内個数 (AMS) が入力されていないにもかかわらず、レベル (AMS)、荷姿コード (AMS) または荷姿名 (AMS) が入力されている。	1.内個数 (AMS) を入力する、2.レベル (AMS)、荷姿コード (AMS) 及び荷姿名 (AMS) を取り消す。	FA01
R0014	内個数 (AMS) が入力されていないにもかかわらず、レベル (AMS)、荷姿コード (AMS) または荷姿名 (AMS) が入力されている。	1.内個数 (AMS) を入力する、2.レベル (AMS)、荷姿コード (AMS) 及び荷姿名 (AMS) を取り消す。	GA01

全般

処理区分
8 : 仮登録

通知先
CY-CFS
1FD01



7. エラー応答の表示

処理結果コードが画面に表示され、エラー内容をクリックすると、対象の項目にフォーカスが移動する。

受信日時 2022/04/28 14:13:55
通信状態 受信完了 (正常)

NR010 : ACL01 ACL情報登録(コンテナ船用)

入力項目ガイド

コード	内容	処置	項目ID
R0014	内個数 (AMS) が入力されていないにもかかわらず、レベル (AMS)、荷姿コード (AMS) または荷姿名 (AMS) が入力されている。	1.内個数 (AMS) を入力する、2.レベル (AMS)、荷姿コード (AMS) 及び荷姿名 (AMS) を取り消す。	FA01
R0014	内個数 (AMS) が入力されていないにもかかわらず、レベル (AMS)、荷姿コード (AMS) または荷姿名 (AMS) が入力されている。	1.内個数 (AMS) を入力する、2.レベル (AMS)、荷姿コード (AMS) 及び荷姿名 (AMS) を取り消す。	GA01

MODEL NO.123456-5
MODEL NO.123456-6
MODEL NO.123456-7
MODEL NO.123456-8
MODEL NO.123456-9

内個数 < 10 / 2/8
レベル 0/1
荷姿 SF / 2/3
荷姿名 SETS / 4/15



8. 入力項目ガイドの表示

画面上部から入力ガイドが表示され、選択した項目のガイダンスメッセージが表示される。

NR010 : ACL01 ACL情報登録(コンテナ船用)

入力項目ガイド

全般

処理区分
8 : 仮登録

船会社 << ONEY 4 / 4

ブッキング番号 << ABCD1234567 11 / 16

0 / 2

NR010 : ACL01 ACL情報登録(コンテナ船用)

入力項目ガイド
 (1) ブッキング船会社またはNVOCCをコードで入力
 (2) 通知先コード欄で指定した宛先にのみACL情報(コンテナ船本情報)等を出力する場合は、「9999」を入力

全般

処理区分
8 : 仮登録

船会社 << ONEY 4 / 4

ブッキング番号 << ABCD1234567 11 / 16

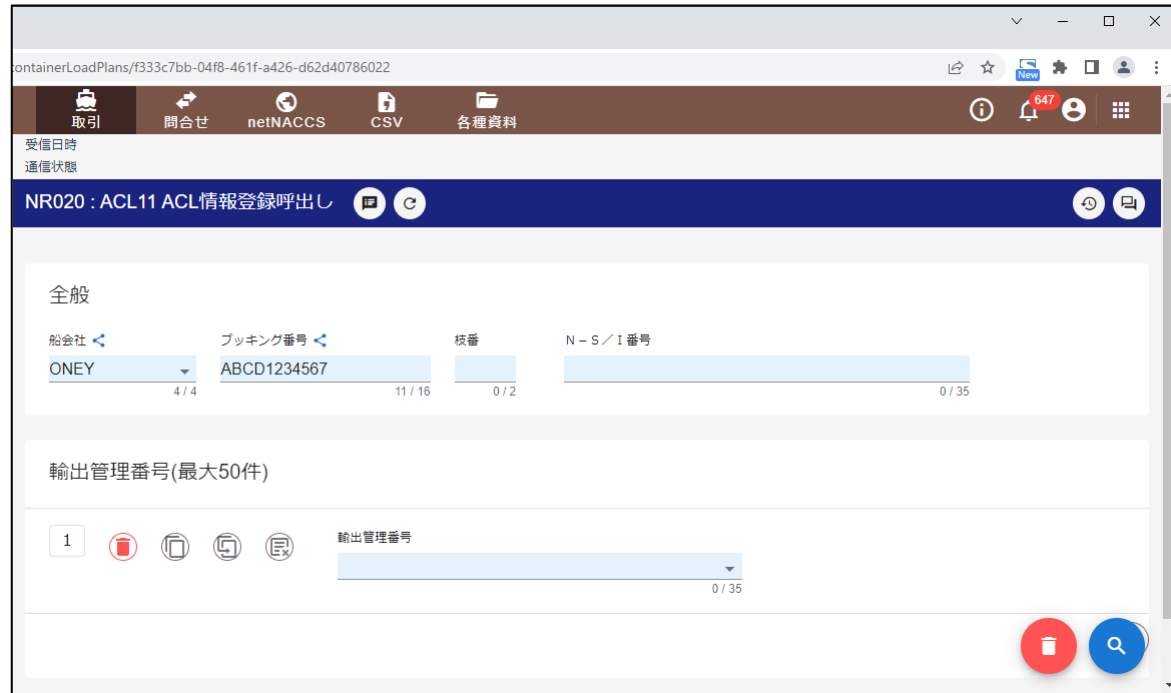
0 / 2



呼出業務を下記の流れで確認します。

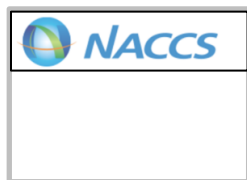
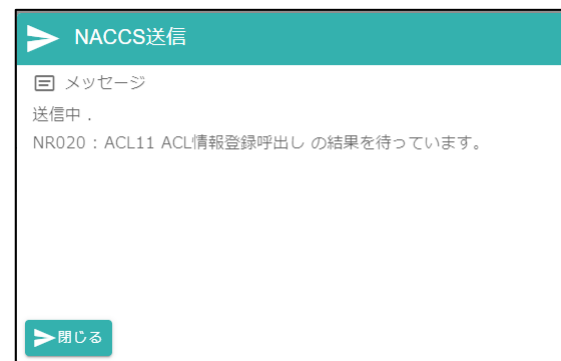
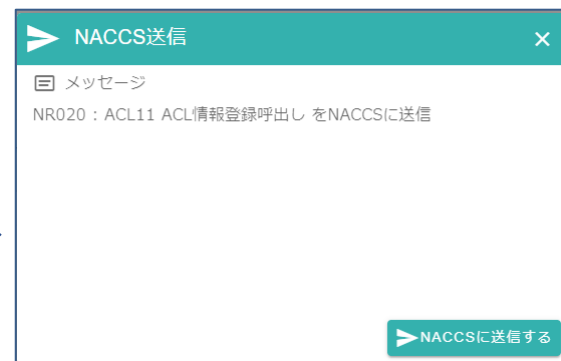
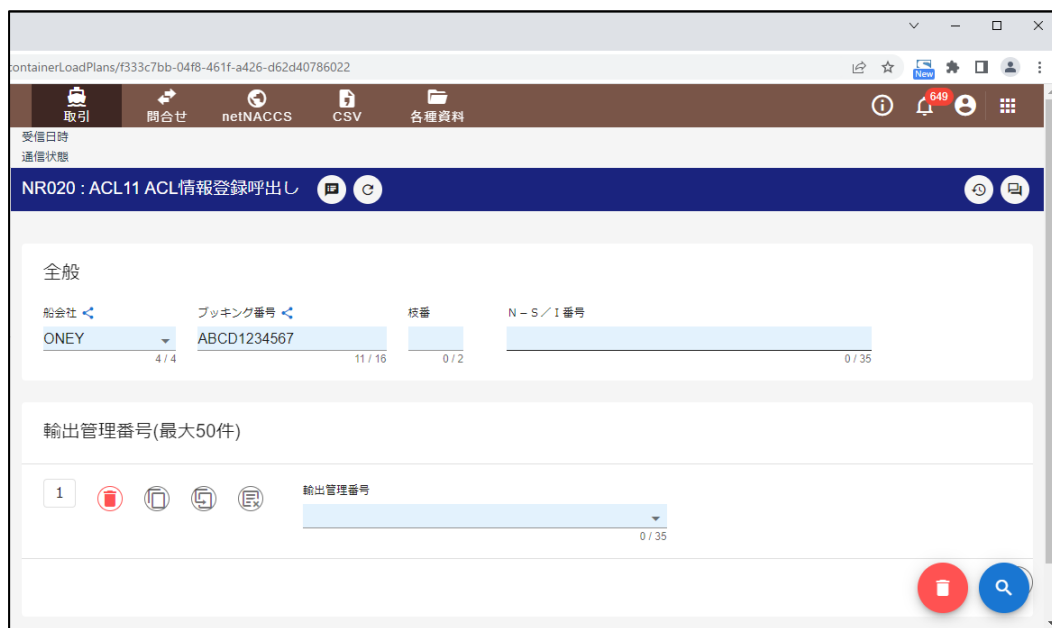
1. 画面表示

取引の左ペインから、ACL11画面を表示する。



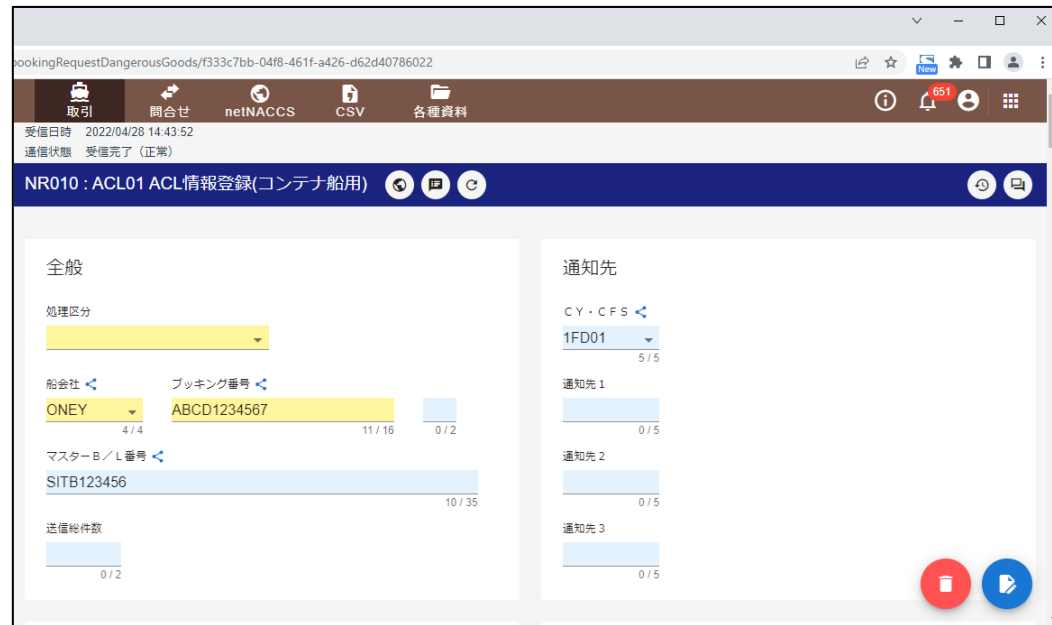
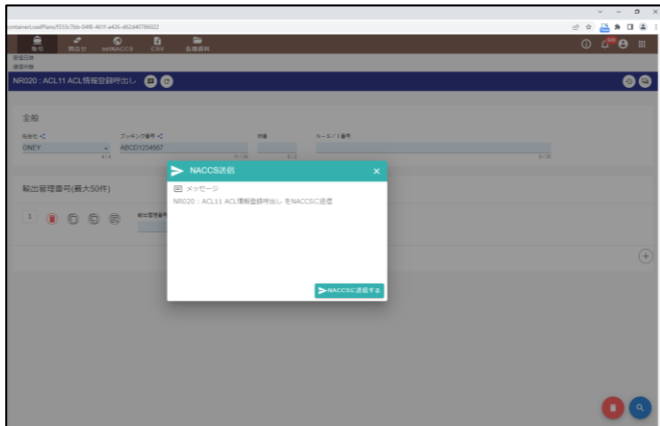
2. NACCS送信情報の検索・送信

検索ボタン押下で、送信確認画面から送信依頼し、応答(処理結果通知と出力情報)を受信する。



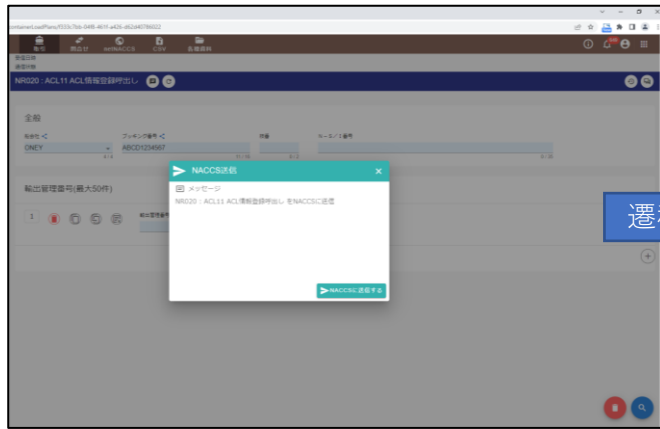
3. ACL01画面への遷移

呼出業務(ACL11)でNACCSから正常応答(処理結果通知)、と出力情報受信後に、対応した登録業務(ACL01)画面へ遷移する。



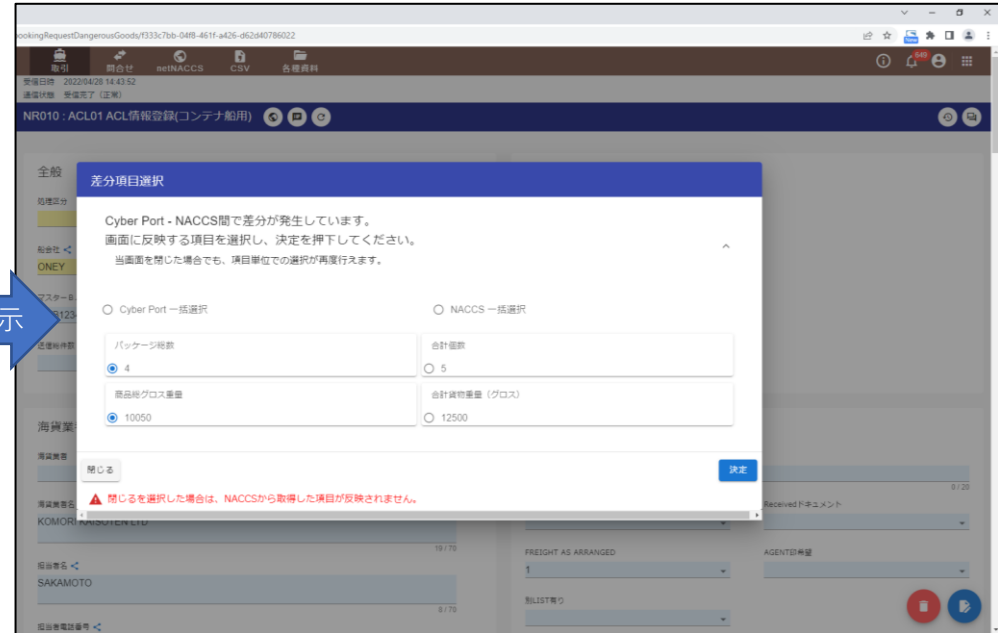
4. ACL01反映前確認画面の表示

ACL01画面では、Cyber Portの情報とNACCSの情報との差異を画面で一覧表示する。



遷移

自動表示



5. 反映後画面表示

反映前確認画面で選択した内容で、ACL01画面を表示する。
 一覧に表示された項目には、差分マークが表示される。

差分項目選択

Cyber Port - NACCS間で差分が発生しています。
 画面に反映する項目を選択し、決定を押下してください。
 当画面を閉じた場合でも、項目単位での選択が再度行えます。

Cyber Port一括選択

パッケージ総数
 4

商品総グロス重量
 10050

NACCS一括選択

合計個数
 5

合計貨物重量(グロス)
 12500

閉じる
決定

▲ 閉じるを選択した場合は、NACCSから取得した項目が反映されません。



NR010 : ACL01 ACL情報登録(コンテナ船用)

合計個数 < 0	荷差	荷差名 <	グロス重量 < 0
4 <small>1/8</small>	CS	CASES <small>2/3</small>	10050 KGM <small>5/10</small>
<small>5/15</small>		<small>5/15</small>	

6. 差分再選択画面表示

画面で差分マークをクリックすると、選択のやり直し画面が表示され、再度選択を行うことができる。

NR010 : ACL01 ACL情報登録(コンテナ船用)

12500
5 / 10

クロス容積 <

15
2 / 10

合計個数 < 0

4
1 / 8

荷姿 CS 荷姿名 CASES
2 / 3 5 / 15

統計品目・代表番号 <

0 / 6

コンテナ本数 <

1
1 / 3

合計個数の
マークをクリック

差分項目選択

Cyber Port NACCS

パッケージ総数 合計個数

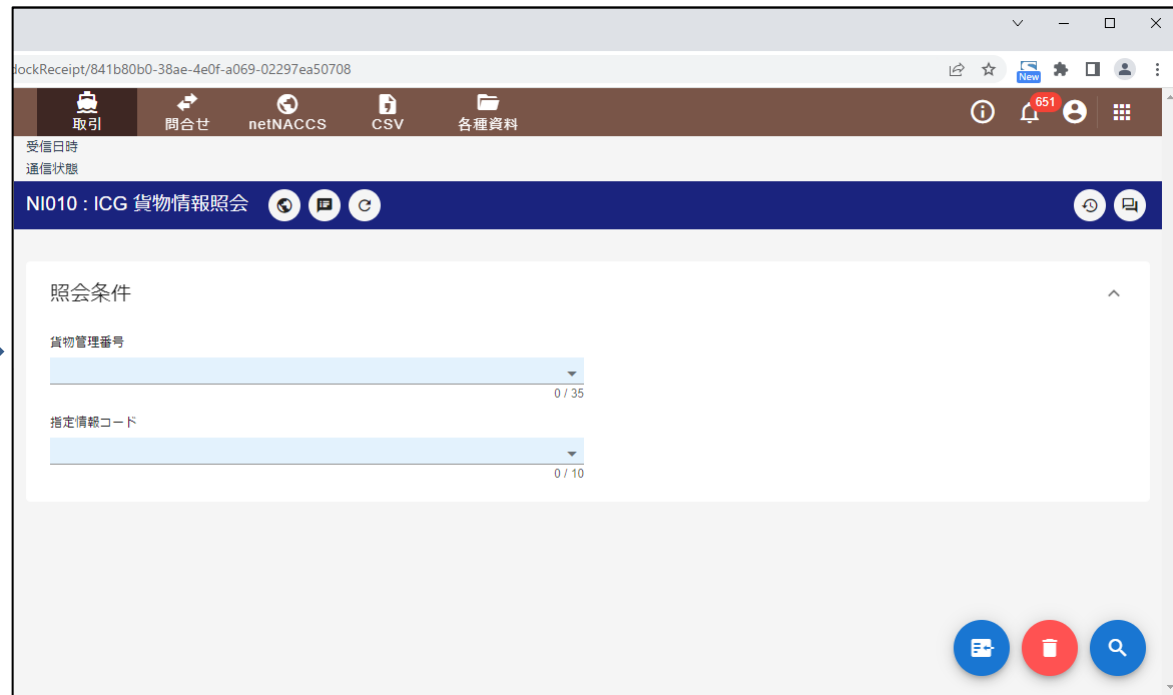
4 5

閉じる 決定

照会業務を下記の流れで確認します。

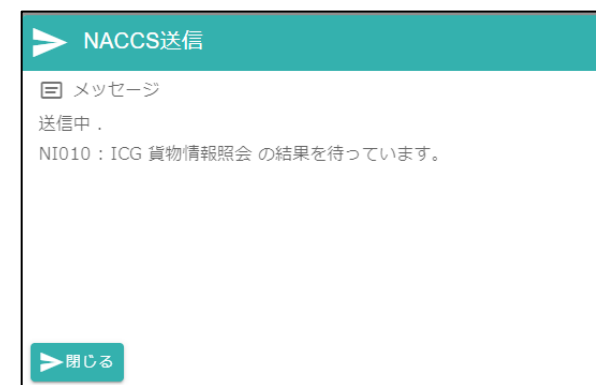
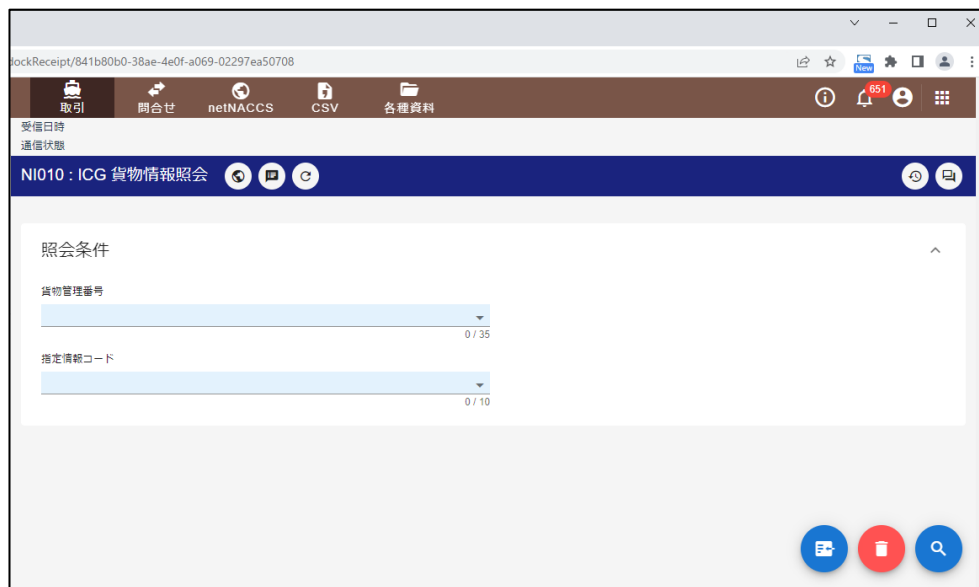
1. 画面表示

取引の左ペインから、ICG画面を表示する。



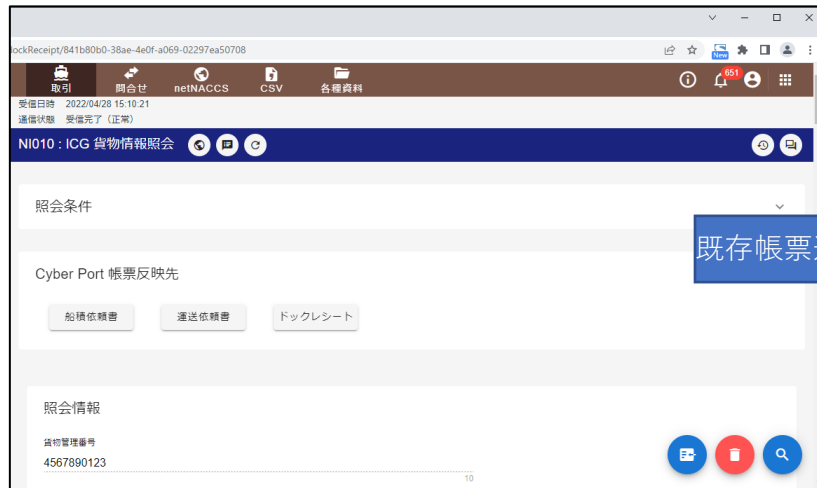
2. NACCS送信情報の検索・受信

検索ボタン押下で、送信確認画面から送信依頼し、応答(処理結果通知と出力情報)を受信する。

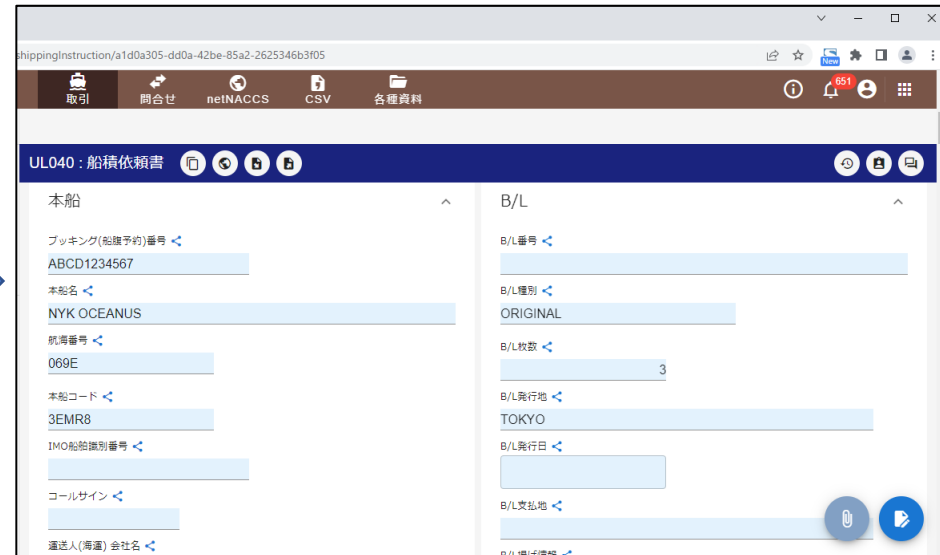


3. 既存帳票画面への遷移

照会業務(ICG)でNACCSから正常応答(処理結果通知)、と出力情報受信後に、既存帳票画面を選択し、帳票画面へ遷移する。

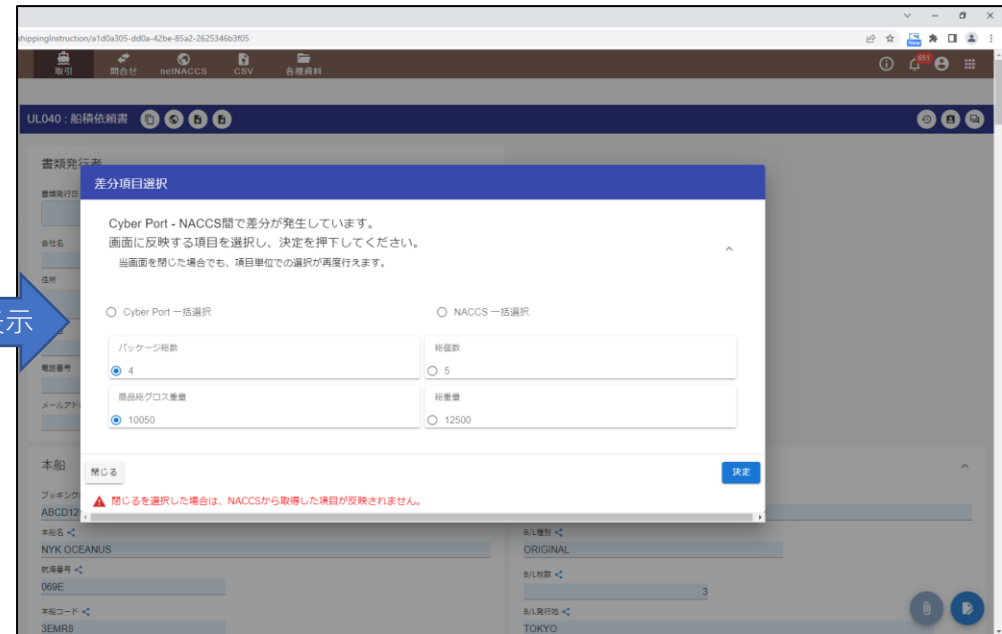


既存帳票選択



4. 既存帳票反映前確認画面の表示

既存帳票画面では、Cyber Portの情報とNACCSの情報との差異を画面で一覧表示する。



5. 反映後画面表示

反映前確認画面で選択した内容で、既存帳票画面を表示する。
一覧に表示された項目には、差分マークが表示される。

差分項目選択

Cyber Port - NACCS間で差分が発生しています。
画面に反映する項目を選択し、決定を押下してください。
当画面を閉じた場合でも、項目単位での選択が再度行えます。

Cyber Port 一括選択 NACCS 一括選択

パッケージ総数	総個数
<input type="radio"/> 4	<input checked="" type="radio"/> 5
商品総グロス重量	総重量
<input type="radio"/> 10050	<input checked="" type="radio"/> 12500

閉じる 決定

▲ 閉じるを選択した場合は、NACCSから取得した項目が反映されません。



ShippingInstruction/a1d0a305-dd0a-42be-85a2-2625346b3f05

取引 問合せ netNACCS CSV 各種資料

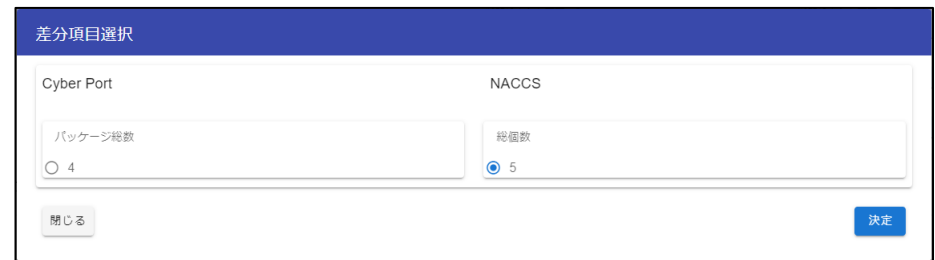
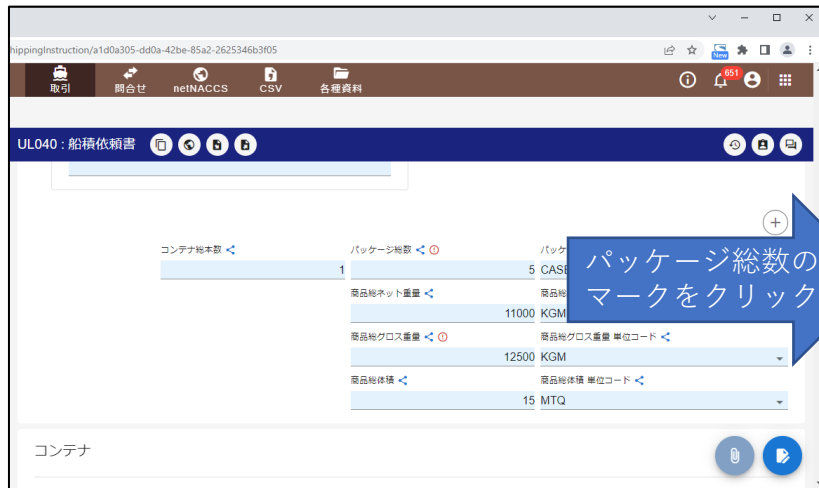
UL040 : 船積依頼書

コンテナ総本数	パッケージ総数	パッケージタイプ (総数)
1	5	CASES
	商品総ネット重量	商品総ネット重量 単位コード
	11000	KGM
	商品総グロス重量	商品総グロス重量 単位コード
	12500	KGM
	商品総体積	商品総体積 単位コード
	15	MTQ

コンテナ

6. 差分再選択画面表示

画面で差分マークをクリックすると、選択のやり直し画面が表示され、再度選択を行うことができる。



NACCS連携機能 API利用

4-1. NACCS連携API

• NACCS連携APIの概要

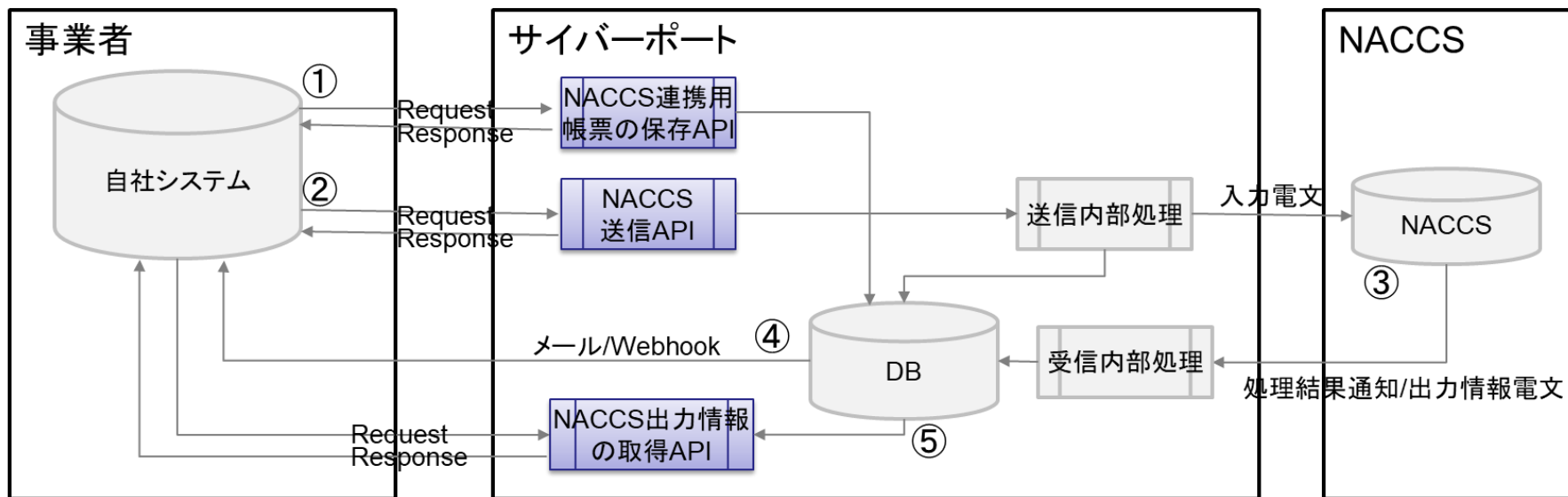
- NACCS連携APIは、事業者が既に利用している自社のシステムから、サイバーポートのAPIを介してNACCSに通信することができます。これにより自社システムにあるデータを利用してNACCS業務を行うことができます。
- また、サイバーポート経由とすることで、他社へのデータ連携・通知等を容易に行うことができます。

No.	NACCSの利用形態	自社システム	netNACCS	専用線接続	対象	備考
1	自社システムを見ながらnetNACCSに手打ち	○	○	-	○	自社システムからサイバーポートのAPIでNACCS連携が可能に。
2	自社システムからファイル出力し、netNACCSにインポート (自動連携)	○	○	-	○	自社システムとnetNACCSの使い分け、インポートの手間を削減。また連携が不完全な場合でもサイバーポートから追加入力が可能に。
3	自社システムからファイル出力し、netNACCSにインポート (手動連携)	○	○	-	○	
4	紙を見ながらnetNACCSに手打ち（自社システムなし）	-	○	-	×	自社システムが無ければAPIを呼び出せないため、対象外。GUIを利用頂く。
5	自社システムが専用線接続済み	○	-	○	×	既に接続済みであれば、サイバーポートのAPI利用の必要はなし。

4-2. NACCS連携API 利用方法

- NACCS連携APIの利用方法は以下の通り。
- ただし、(1)登録業務／(2)呼出業務／(3)照会業務で呼び出すAPIが若干異なるため。詳細を次頁以降に記載する。

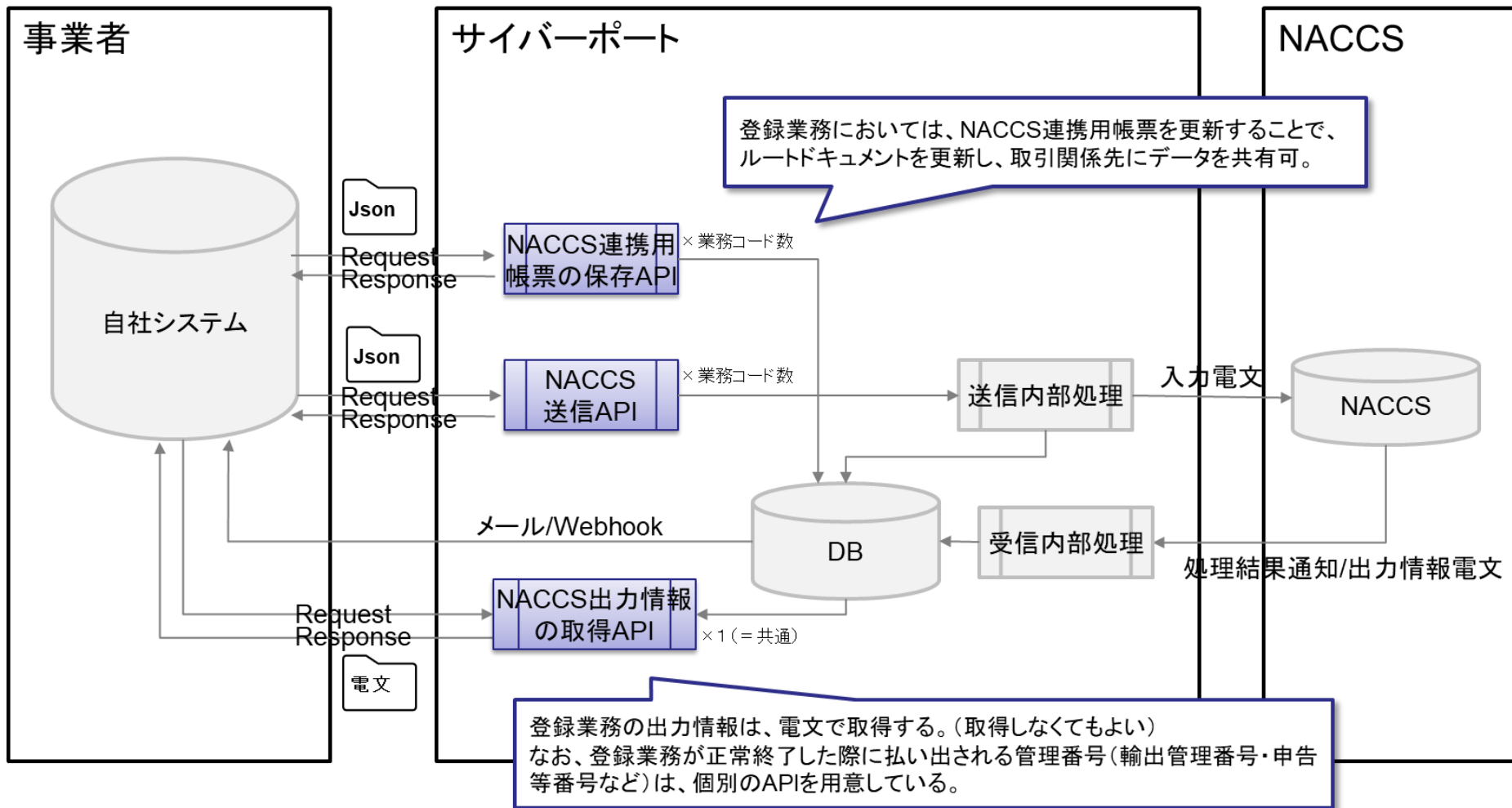
【API利用イメージ】



- ① 自社システムが「NACCS連携用帳票の保存API」を呼び出し
- ② 自社システムが「NACCS送信API」を呼び出し
- ③ (NACCSにて処理・サイバーポートに返却)
- ④ 自社システムがWebhookを受信 ※ここで出力情報の取得のためのキー情報を取得
- ⑤ 自社システムが「NACCS出力情報の取得API」を呼び出し

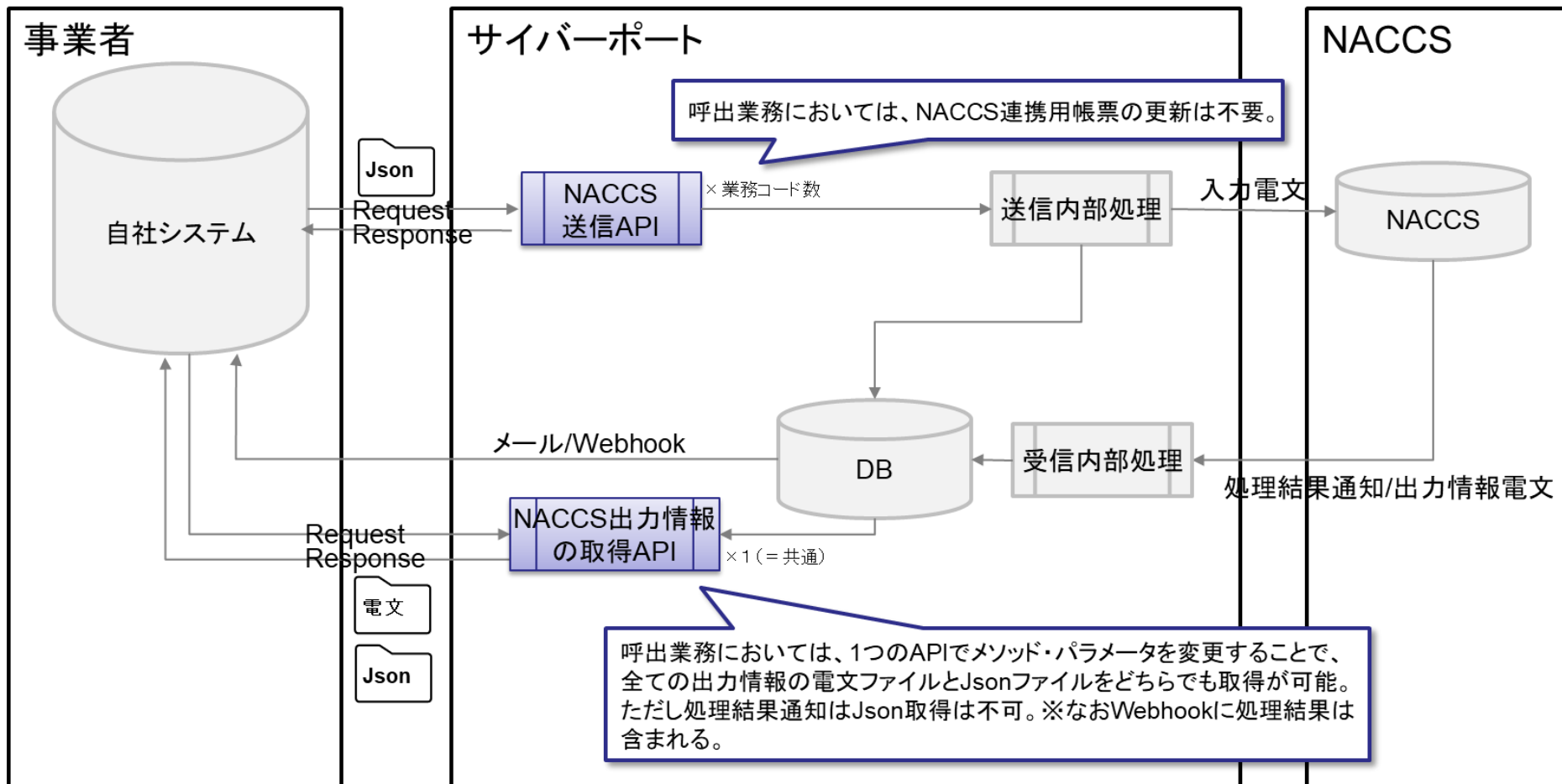
4-3. NACCS連携API 利用方法 (1)登録業務

- (1)登録業務のAPIを利用した処理の流れは以下の通り。



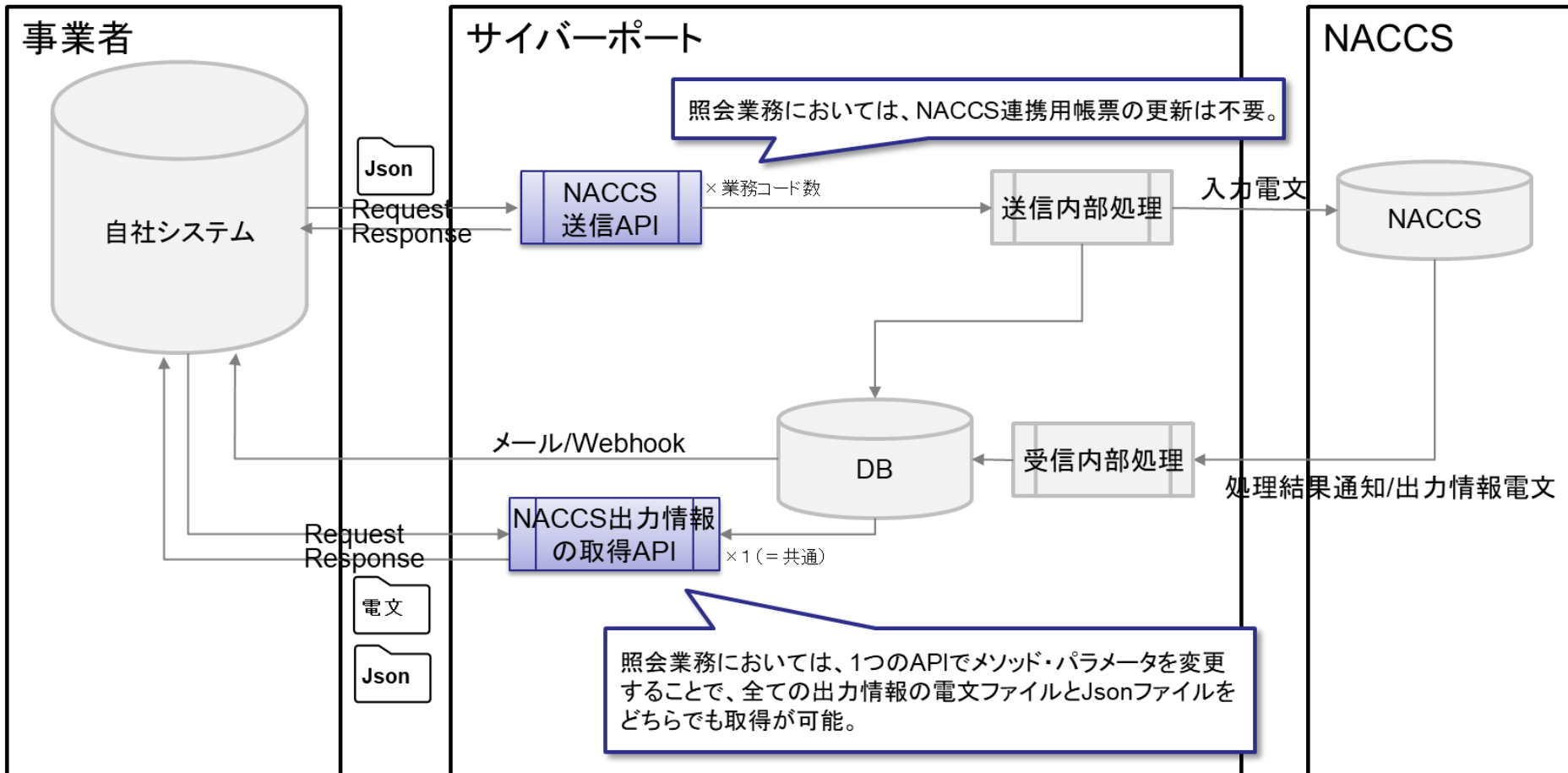
4-3. NACCS連携API 利用方法 (2)呼出業務

- (2)呼出業務のAPIを利用した処理の流れは以下の通り。



4-3. NACCS連携API 利用方法 (3)照会業務

- (3)照会業務のAPIを利用した処理の流れは以下の通り。



- 呼び出すAPIを以下に記載します。

No.	項目	API ※詳細仕様はSwaggerに記載		備考
1	NACCS連携用帳票の保存API	{業務コード名(英名)}	{業務コード}	通常の帳票と同様の仕様です。業務コード毎にAPIが存在します。任意の業務コードのAPIをご利用ください。
		/API/v1/NaccsReport/{業務コード名(英名)}/Register		
2	NACCS送信API	{業務コード名(英名)}	{業務コード}	業務コード毎にAPIが存在します。任意の業務コードのAPIをご利用ください。
		/API/v1/NaccsReport/{業務コード名(英名)}/NaccsSendRequest		
3	NACCS出力情報の取得API	NaccsReceiveDat as	NACCS受信データ	EDI形式、JSON形式の2種類の形式で取得できます。
		/API/v1/NACCS/NaccsReceiveDatas/GetBy〇〇〇		
番外	NACCS情報の取得API	Common	ルートドキュメント 共通	輸出管理番号,申告等番号等、登録業務を行うことで払い出されるNACCS情報を取得します。
		/API/v1/Common/GetNaccsInformation/{dealNo}?naccsBusinessCode={naccsBusinessCode}		

